

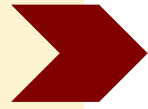
# 函館校が 取り組む **地域協働活動**

## 学生主体

### ◆ ボランティア活動

### ◆ サークル活動

- **〈きつずゆにおん〉**  
町内会館で子ども達を楽しめる活動を提供
- **〈函館サンタラン実行委員会〉**  
闘病中の子ども達にサンタに扮してプレゼント
- **〈SPORTS北海道〉**  
小学生～高齢者対象のスポーツ教室
- **〈サマースクール in 函館〉**  
知的障害児対象の夏期休暇支援



## 学生・教員

### ◆ 地域現場実習型科目

### ◆ 地域課題解決型科目

- **〈地域プロジェクト〉**  
全学生必修：約40種 [→詳細は次頁](#)
- **〈ソーシャルクリニックと地域〉**  
人口減少問題への対応や地域振興、被災地での復興支援、地域の情報を魅力的に発信するスキルなどを学ぶ
- **〈地域づくり支援実習〉**  
約2週間滞在し、課題を抱える地域づくりを支援  
(胆振東部地震被災地の支援・森町の就業体験など)
- **〈観光コンシェルジュ実習〉**  
学生目線での観光プラン作成や情報発信を実践  
(まちあるき体験・ガイドコース造成など)
- **〈教員ごとの活動〉**  
生態系の調査・商店街再生政策の立案・小学生向けワークショップなど



## 教員主体

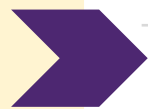
### ◆ 調査・研究

### ◆ 地域協働事業

### ◆ 出張講演・授業

### ◆ 地域学習支援

- **〈まちづくりカフェ〉**  
中高生を含む地域の多様な世代の気軽な会話からまちづくり(江差町・八雲町など)
- **〈地域学習支援〉**  
小・中・高での地域創生・探究学習を支援  
(涌元小学校・知内高校・市立函館高校・函館西高校など)
- **〈各種調査・研究〉**  
専門性を活かし地域の特色や課題を把握  
遠隔教育システムを利用した共同研究(福島中学校)
- **〈出張講演・授業〉**  
専門性を活かし社会教育に貢献  
[→詳細は「教員紹介」\(P8～P50\)](#)



これらの活動を推進する組織が**地域協働推進センター**です  
地域のニーズと大学のシーズをしっかりと繋ぎます！

# 地域プロジェクトについて

## ◆ 函館校全学生の1年間必修科目

- ・道南地域の課題解決をはかるPBL（「Problem Based Learning」 & 「Project Based Learning」）型科目
- ・大半の教員が担当、平均6～9名ずつの学生で実施
- ・プロジェクト数は約40（国内最大規模）

## ◆ 地域と協働し実践 ↔ 座学

- ・地域と協働しながら、地域の課題を的確に理解した上で解決するためのプロジェクトを立案・実践

## ◆ 将来地域で活躍するための力を養う

- ・真剣に課題解決に取り組んだ成果は直接 or 間接？  
→将来地域に残って支える学生を共に育てて頂ければ有難い

# 代表的な地域プロジェクトの概要

## ◆ 弁天町における小学生を対象とした地域活性化プロジェクト

人口減少・高齢化、空き家率が上がる西部地区のニーズに合わせて、地域の子どもを対象としたすまいるクラブの企画や弥生小学校への訪問を行うことで、西部地区において大学生と地域の子どもが交流できる場を作った。

## ◆ 「財政教育プログラム」刷新協働プロジェクト with 函館財務事務所

小中学生に向けた「財政教育プログラム」の問題点を特定するとともに、それを解決するための具体的な内容を構想し、実際に附属函館中学校等で模擬授業を行った。

## ◆ はこだてエコライフ推進プロジェクト

学生自身や地域の方に「エコライフ」について深く理解していく機会を作り、共に学んでいくことが目的。「エコライフ」に関係する各種イベントへの参加や函館市日の出清掃工場の見学をし、「函館エコライフ推進勉強会」を主催した。

## ◆ Enjoy Study プロジェクトB ～スタディレンジャー～

子どもたちの学習意欲を高めるため、ゲーム感覚で勉強を楽しみ、学習意欲を高めるきっかけを作る活動を計画・実施した。